



特集

災害時、自分で情報収集を

いつ起こるか分からない災害。いざという時に必要な情報をすぐに確認して、正しく理解することが命を守る行動につながります。日ごろからどのような情報収集の手段があるかを確認しておきましょう。

問い合わせ 地域づくり課

情報収集の手段を増やそう

災害が発生すると、気象情報や避難情報、警戒レベルなどのさまざまな情報が発信されます。

災害はいつでもどこで発生するかわからないもの。情報収集は適切な判断や行動に必要ですが、収集の手段が1つだけだと、それが使えなくなったときに情報を確認できなくなる恐れがあります。テレビのデータ放送やインターネットなどいろいろな方法を活用して複数の情報収集手段を持ちましょう。

災害時はスマートフォンや携帯電話が有効

日ごろから持ち歩くことが多く、災害が発生したときでもすぐに使えるスマートフォンや携帯電話。町では公式ホームページのほか、LINEやFacebookの公式アカウントで情報を発信しています。登録すると町からの避難情報や交通規制情報などを確認することができます。

防災マップを確認しよう

町では土砂災害や洪水、津波などの災害に備えて、被災想定や避難所を記載した防災マップを作成しています。自宅付近の危険な場所や避難所を事前に確認しましょう。

事前に調べる、登録や設定をしておく

アイコン……利用できる主な媒体



スマートフォン



携帯電話



パソコン

岡垣町防災マップ

岡垣町防災マップ



町内の災害危険区域を確認することができます。防災マップをインターネットでダウンロードできます。



防災メールまもるくん



福岡県まもるくん



福岡県が防災気象情報(地震、津波、台風、大雨など)や避難情報を発信するメールサービス。



LINE(ライン)



災害時に町の公共施設の休館情報などを発信しています。



岡垣町 LINE



Facebook(フェイスブック)



岡垣町 Facebook



災害情報のほか、町のイベント情報なども随時お知らせしています。





いざというときに調べる

気象情報 (気象庁 HP)



気象庁



気象庁のホームページで確認できる早期注意情報では、警報が出る可能性がある現象や時間帯を5日先まで予測しています。

テレビのデータ放送

気象情報や避難情報などの最新情報を知りたいときは、リモコンのdボタンを押して、データ放送を確認しましょう。

dボタンで確認できる情報

台風情報

警報・注意報

雨量・水位

避難情報 など

放送局によって、メニュー画面や確認できる情報が異なります。よく見る放送局の画面メニューをチェックしましょう。



岡垣町公式ホームページ

岡垣町



災害が発生したときは、緊急情報がトップ画面に表示されます。災害関連の情報を迅速にお知らせします。



福岡県河川防災情報

福岡県 河川防災



矢矧川 (前牟田橋周辺)、汐入川 (立田橋) の水位などをリアルタイムで配信しています。

身近な災害対策に

今日から取り組もう

家族のルールを決めておこう



- 大切なものを守るのは、冷静な判断と行動力です。家族みんなで話し合い、災害が起こったときの避難場所や連絡方法などを決めておきましょう。
- 災害時でも家族や知人との間で安否確認や避難場所の連絡をスムーズに行うため、災害用伝言ダイヤル171などの使い方を確認しましょう。



備蓄や防災グッズの準備をしよう



- 家庭内備蓄 (水や食料など) は、各家庭で3日分、できれば7日分を用意。
- 非常持ち出し品は、ひとりずつリュックサックなどに入れて、すぐに取り出せる場所に置いておきましょう。男性は15kg、女性は10kgまでが目安です。
- 「でんたつくん」の予備電池を確認。停電時でも電池で24時間使用できます。



家の周りの危険な場所 避難場所の確認



- 災害時でも落ち着いて行動できるように、避難経路などを想定しておきましょう。
- 実際に歩いてみて、避難経路や避難にかかる時間を確認しておきましょう。

家庭内防災に 取り組もう



- 耐震診断・耐震補強
- 家具の転倒防止対策
- 消火器の場所、使い方の確認

命を守る防災情報

警戒レベルとは

これまででは市町村の避難情報や気象庁の注意報・警報などの情報が正しく理解されず、避難行動に結びつかないなど、情報の伝え方に課題がありました。

そのため、災害が発生したときの危険度を直感的に理解し、的確な避難行動ができるように分かりやすく変更されました。
市町村が発令する避難情報や気象庁の注意報・警報の情報と避難行動を関連づけて5段階の「警戒レベル」を使って伝えています。

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	すでに災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握したときに、可能な範囲で発令 (市町村が発令)
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われるときは、近くの安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促すときに発令 (市町村が発令)
警戒レベル 3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人（高齢者や障がい者、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどで、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)



災害時の行動のめやす

警戒レベル 1

早期注意情報

テレビ、ラジオや気象庁ホームページなどで気象情報に注意する



警戒レベル 2

大雨、洪水注意報

- 非常持ち出し品の点検
- 避難場所や経路の再確認
- 危険な場所には絶対近づかない



警戒レベル 3

避難準備・高齢者等避難開始

- 高齢者など、避難に時間のかかる人は避難開始
- 危険を感じたら身の安全を図る
- 避難勧告に注意



対象地区全員避難！

警戒レベル 4

避難勧告、避難指示（緊急）

防災豆知識

非常時のライトは、懐中電灯+水入りペットボトル

懐中電灯は照らす範囲が狭く、夜間の待機時はちょっと不便利かもしれません。そんなときは懐中電灯で水を入れたペットボトルを照らすとルームライトに早変わりします。

火災発生時、水で消火してはいけないものは「電源タップ」「食用油」

水をかけると電気系統は感電の、油は爆発の恐れがあります。消火器の準備をしておきましょう。

防災グッズには「食器用ラップ」が大活躍

お皿がないときはラップを使うと衛生的です。また、傷口の保護にも使え、くしゃくしゃにするとスポンジの代わりにもなります。

ローリングストック法で日用品を備蓄品に

普段から保存がきく食材や加工品を少し多めに買っておき、使った分を買い足していくだけ。常に一定量を確保することで、いざという時の備蓄品にしましょう。



避難の方法を考えよう



災害が発生し、避難をするときは

警戒レベル3や4が発令されたら危険な場所からの避難が必要です。「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

緊急時に身を寄せる避難先は、市町村が指定する避難所や災害が発生していない地域の親戚や友人の家などさまざまです。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

感染症対策をしよう

災害が発生し、避難所への避難が必要になったときは、新型コロナウイルス感染症などの感染症に注意が必要です。

災害時には断水などで十分な水の確保ができなくなり、こまめな手洗いなどができない可能性があります。また、密集した環境下での集団生活などで、感染性胃腸炎やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染が拡大するリスクが高まります。地震や風水害などの災害と感染症が同時に起こるケースを想定し、災害が発生しても適切な対応がとれるよう日ごろから準備を整えておきましょう。

避難所に行く前に

親戚や友人の家への避難を検討しよう

まずは、ハザードマップで浸水や土砂災害が発生する区域にいるかなど、自分が避難するべきかを確認しましょう。

自宅に留まり、安全を確保することも避難行動のひとつです。安全な場所に住む親戚や友人がいるときは、避難先の候補として考えておきましょう。



避難所に避難するときは

水や食料、常備薬などのほか、感染症対策に次のものを持っていきましょう。また、避難所に行く前に検温とマスクの着用を徹底しましょう。

- マスク
- 体温計
- 手洗いせっけん
- アルコール消毒液
- ウエットティッシュ



避難所では

体調チェックをしましょう

避難生活開始後も、検温などを行って定期的に健康状態を確認しましょう。発熱や咳などの症状がある人は、避難所職員に申し出てください。

十分な換気と、スペースの確保

避難所では換気を心がけ、人との

距離をとって感染を予防しましょう。可能な限り密閉・密集・密接の「3密」を避けてください。

手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底

こまめな手洗いや消毒をしてください。手すりやドアなどに触れた後なども手洗いや消毒をしましょう。

咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底しましょう。